

「令和8年度より機械科・生産機械科は機械システム科となります。」

機械システム科 社会の変化に対応できる技術者を目指して

機械システムに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、社会の変化に対応することのできる他者と協働して未来を切り開く力を備えた実践的な資質・能力を有する機械システム技術者を育成する。

取得可能な主な資格

技能検定2・3級(普通旋盤・シーケンス制御・フライス盤・機械検査)、ガス溶接技能講習、危険物取扱者乙種第1～6類、機械製図検定、基礎製図検定、情報技術検定、計算技術検定、パソコン利用技術検定 など

主な実習内容



機械加工

旋盤・フライス盤・溶接機などの様々な工作機械等を使用して、機械加工の基礎的・基本的な技術を習得します。



CAD・CAM・CAE・MC

CADシステムの概要とその操作方法を学び、モデリングしたデータを活用するまでの流れを学習します。



自動制御

PLCにおけるシーケンス制御・ロボットアームのティーチング・マイコンロボットの制御について学習します。

建設科 安全で快適な生活空間を創造できる技術者を目指して

土木や建築に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、福祉や環境にも配慮することのできる思いやりの姿勢を備えた実践的な資質・能力を有する建設技術者を育成する。

取得可能な主な資格

2級土木施工管理技術検定(学科)、2級建築施工管理技術検定(学科)、技能検定2・3級(建築大工)、測量士補、建設業経理事務士、建築CAD検定、建築技術検定、建築製図検定、ローラー運転業務特別教育、小型車両系建設機械特別教育、ガス溶接技能講習、パソコン利用技術検定、計算技術検定 など

主な実習内容



測量

測量機器を用いて、地面の高さや2点間の距離・角度を測定し、土地の形状や面積などを求める技術を学習します。



木材加工

家具の製作や木の組み方などを通して、鋸(のこぎり)や鑿(のみ)、鉋(かん)の使い方や木材の加工技術を学習します。



施工

鉄筋組立や足場組立など建設現場に即した実習を通して、作業手順や安全な作業方法を学習します。

To be a practical engineer with creativity

創造型実践技術者を目指して

機械科 社会の変化に対応できるエンジニアを目指して

機械に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、各種の産業を支えることのできる確かな実力を備えた実践的な資質・能力を有する機械技術者を育成する。

取得可能な主な資格

技能検定2・3級(普通旋盤)、技能検定3級(シーケンス制御・フライス盤・機械検査)、危険物取扱者乙種第1～6類、ガス溶接技能講習、品質管理検定4級、機械製図検定、情報技術検定、計算技術検定 など

主な実習内容

機械加工、溶接作業、原動機 など

生産機械科 実践力のある機械技術者を目指して

生産機械に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生産効率の向上に寄与することのできる柔軟な発想を備えた実践的な資質・能力を有する生産機械技術者を育成する。

取得可能な主な資格

技能検定2・3級(普通旋盤)、技能検定3級(シーケンス制御・フライス盤・機械検査)、危険物取扱者乙種第1～6類、ガス溶接技能講習、品質管理検定4級、機械製図検定、情報技術検定、計算技術検定 など

主な実習内容

マニピュレータ、CAD/CAM/CAE、自動制御 など

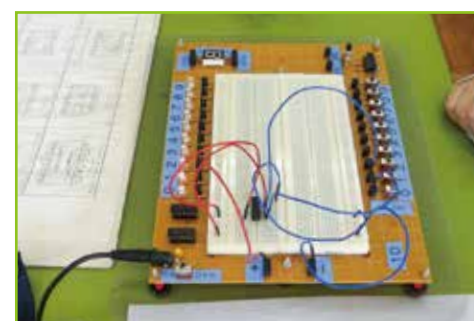
電子科 情報化社会に対応できる技術者を目指して

電子や情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、情報化社会に対応できる新たな電子技術や情報ネットワーク技術等にも積極的に挑戦する態度を備えた実践的な資質・能力を有する電子技術者を育成する。

取得可能な主な資格

第1種・第2種電気工事士、工事担任者第2級デジタル通信・第2級アナログ通信・総合通信、危険物取扱者乙種第1～6類、計算技術検定、情報技術検定、パソコン利用技術検定 など

主な実習内容



論理回路

工業情報数理で学習した内容を基礎とし、論理回路を設計し、デジタルICを用いて設計通り動作するかを確認します。



PLC制御

パソコンを使い、ラダー図(制御図)をもとにプログラミングし、ランプやモータなどの制御について学習します。



OPアンプ

増幅回路(音響機器)や制御回路などに利用されているオペアンプ(演算増幅器)の入出力特性や周波数特性について学習します。